

音楽療法セミナー①を行いました。

令和4年 8月26日（金） フリー研修

講師：本校教諭 森木 亜季

音楽の持つ力を用いて、本校児童生徒の支援についての知識を得ることを目的として、日本音楽療法学会認定音楽療法士の資格を持った本校教諭 森木亜季先生を講師として、研修を行いました。

まずは、音楽療法についての定義や歴史を知り、動画で音楽療法の臨床場面を見ました。動画では、最初にクライアント(対象者)が自由に太鼓を鳴らし、その音に合わせてセラピストがピアノで音を鳴らしていましたが、後にセラピストのピアノの音と名前の呼びかけに続いて、クライアントも同じようにピアノの音と名前を反復する様子が見られ、音楽療法による効果を見ることができました。また、音楽療法には、マニュアル化された方法はなく、クライアントそれぞれに合わせて様々であること、歩行訓練に音をつけて、その動きをサポートするような形の音楽療法など、他職種と連携しながら行うものがあることを学びました。そして、森木先生が音楽療法で大切にしていることは、日常とは少し違う雰囲気作りや1つ1つの音の響きを大切にすることのことでした。

次に耳を澄ませて楽器の音を聞く体験をしました。鳥の鳴き声の様な音が鳴るバードコールやお寺の静けさを感じるティンシャ、振ると鍵盤の音階が鳴るトーンチャイムの音を受講者が体験しながら聴きました。とても落ち着く音でした。

最後は、音楽療法の手法を導入した指導法「HIRANO SMCs」を取り入れたいますぐ使える！教材の紹介でした。実際に受講者とともに実演しながら、本校で今年度より推進しているひらのキャリアプランと関連させた脳力領域や実施内容などの説明がありました。そして、「データの収集や教材の開発、情報の発信を行うなど、一緒に「HIRANO SMCs」を作り上げて行きましょう。」との言葉かけで本研修は終了しました。

